

The Power of Insights

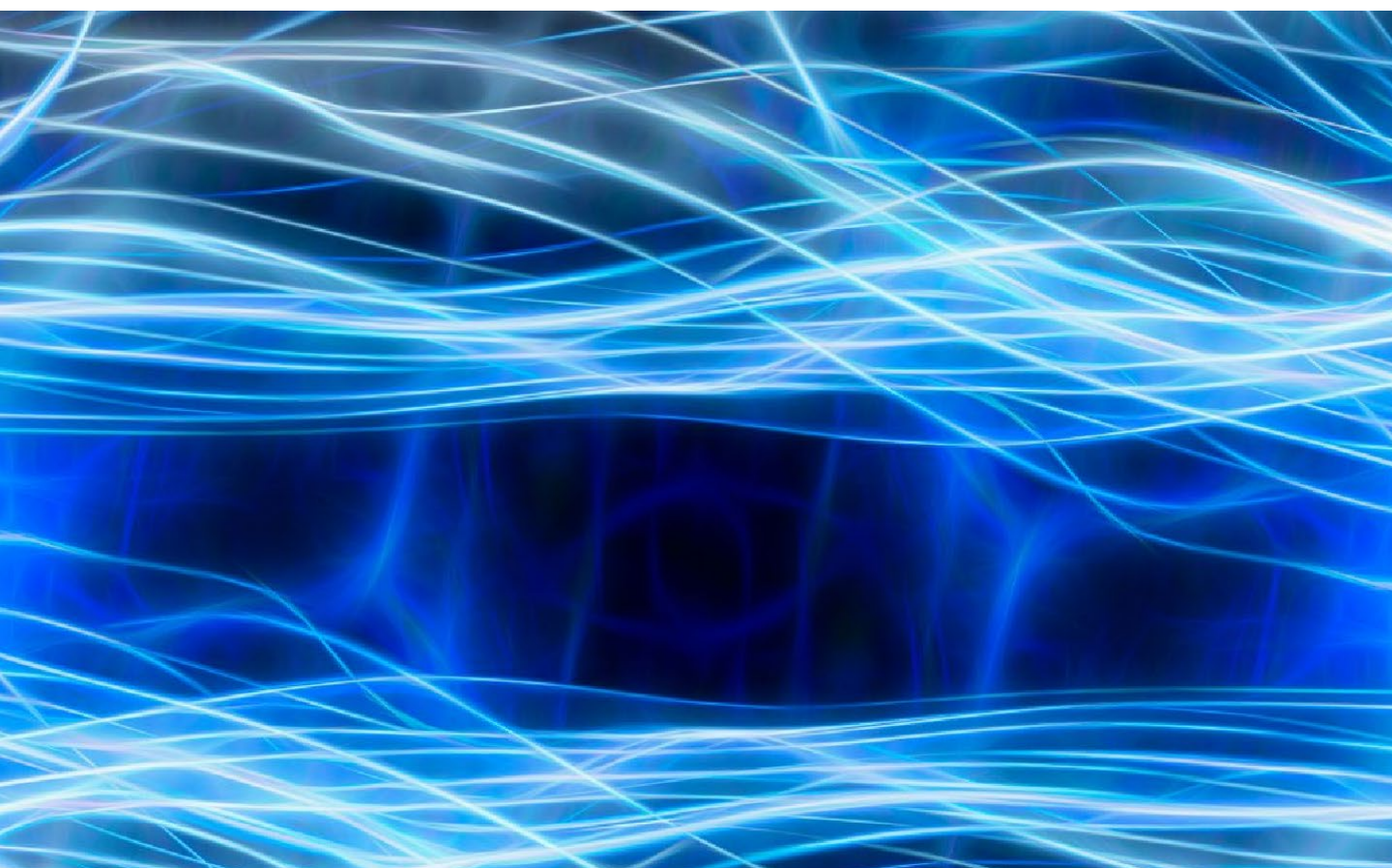


ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの
計量投資戦略手法と

ファンド「GS グローバル・ビッグデータ投資戦略」のご紹介

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）
追加型投信／内外／株式

2026年7月



投資アイデアからポートフォリオ構築まで

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの計量投資戦略（QIS）グループでは、データに基づくアプローチを採用し、15,000社以上の上場企業について日々詳細な投資判断を行っています。

そのプラットフォームを活用し、中長期的な株式リターンを左右すると考えられるさまざまな要素により、企業を様々な観点から分析しています。

こうした取り組みにより、分散されたアルファ源泉を発掘し、他の投資家と差別化され、かつ安定的な長期投資成果の創出を目指しています。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントのQISグループは、1989年の設立以来、幅広い顧客に対し優れた投資機会の提供を追求してきた実績があります。

また、ゴールドマン・サックス・グループのテクノロジー基盤を活かし、高度な専門性を備えた投資プロフェッショナルと強いリサーチ文化を融合させています。これにより、安定性・説明可能性・再現性を兼ね備えた投資成果を目指しています。

この資料では、計量投資戦略（QIS）グループがどのように膨大なデータから投資アイデアを抽出し、それを実際のポートフォリオ構築に結びつけているのかを説明します。



**経験豊かな専門家
による洞察**



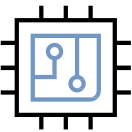
**データとAIで
飛躍的に強化**



ポートフォリオ・マネージャーによる監督と強化

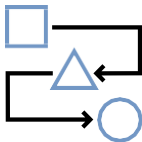
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの計量投資戦略

— 投資のアプローチ —



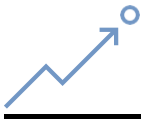
データ主導のアプローチ

当社は、高度な統計手法および人工知能（AI）技術を活用し、大規模かつ複雑なデータから有効な情報を抽出しています。



分散されたアルファ源泉

日々15,000社以上のグローバル株式に対して日々統合的な分析を行っています。伝統的および非伝統的データを活用した多数*のシグナルを利用することで、市場にまだ十分に織り込まれていない投資機会の発掘を目指しています。



差別化された投資成果

多様なデータソースの力を最大限に活用することで、競争力のある、安定的な長期パフォーマンスの実現を目指しています。

計量投資戦略（QIS）グループ

1989年の設立以来、QISは、日々生み出され続ける膨大なデータから有効な情報を抽出するため、最先端の定量手法の研究および実運用の両面において業界を牽引してきました。

35+

計量運用経験年数

32.3兆円*

契約資産残高(AUS)

90+

投資専門家と
データサイエンティストの人数

100+

エンジニアの人数

1兆+

利用しているデータ数

15+

AI活用経験年数

*各企業の評価には各地域のモデルで採用されている150以上のシグナルが使われています。グローバルで利用しているシグナルの総数は1,200以上となります。

**1米ドル=159.090円で円換算（時点：2026年3月31日）

時点：2026年3月31日 出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

上記は例示を目的としたものです。これらの目的が達成される保証はありません。トレーディング、エンジニアリング、ESGおよびスチュワードシップ・チームの人員は、パブリック・エクイティ・フランチャイズ全体の数値です。運用資産（AUS）には、ゴールドマン・サックスが完全な裁量権を持たない運用資産およびその他の顧客資産が含まれます。

ステップ1：企業分析 — 投資の「理由」と「タイミング」を見極める

適正な価格で評価され、高品質な収益を生み出し、持続可能なビジネスモデルと優れた経営陣を備え、さらにポジティブな市場センチメント（市場心理）や有利な市場テーマの恩恵を受ける企業への投資を目指しています。

ファンダメンタルズが強固な企業であるか？

ハイクオリティ・ビジネスモデル

経営が堅実であり、成長性と収益力が高い企業を選ぶ。

- ・（例）収益成長見通し
- ・（例）雇用と従業員のフィードバック

テーマおよびトレンド

世界各地の企業に影響を与えるテーマやトレンドを発見。

- ・（例）企業と業界のトレンド
- ・（例）関連企業のトレンド

ファンダメンタル・ミspraise

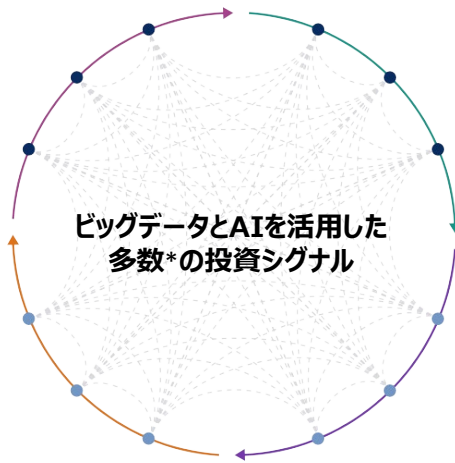
株価が適正水準から乖離した企業に注目。

- ・（例）相対バリュエーション
- ・（例）業種自体のバリュエーション

センチメント

アナリスト・レポートなどから、企業に対する市場の強気・弱気度を解析。

- ・（例）他の市場参加者の投資行動
- ・（例）企業経営者の市場心理



当該企業への投資に適したタイミングか？

データインテリジェンス：

市場に織り込まれていない情報を捉えるプロセス

消費者行動データ：将来の収益成長ポテンシャルに関する先行的な情報を提供

- ・ クレジットカードの利用データ
- ・ Eメールレシートに基づく購買データ
- ・ アプリのダウンロード数およびDAU（デイリー・アクティブ・ユーザー）の成長

ビジネス運営データ：経営の安定性と事業目標の達成に関する情報を提供

- ・ 求人情報の掲載期間
- ・ 従業員レビュー

各種センチメント・データ：経営陣や投資家の注目分野に関する情報を提供

- ・ 決算発表説明会の議事録や録音
- ・ TVの金融ニュースでの言及回数
- ・ 機関投資家の投資フロー

人間とAI、強力なコンビ

AIは人間の判断を代替するのではなく、その判断力を強化すると考えています。

当社ではAIを、複雑なデータから本質的な洞察を抽出するツールとして活用しています。これにより、従来の分析では見落とされがちな以下の重要な領域を明らかにしています：

- ・ 企業および業界の構造的トレンド
- ・ 微妙なセンチメントの変化
- ・ 企業間の関係性
- ・ 投資家行動のパターン分析

100万+

AIモデルの学習時間

100+

使用するGPU**

独自に強化した

日本語言語モデル

年間約20,000本の決算説明会議事録

約400,000時間分の決算説明会録音データ

年間 約200万件のニュース記事

年間 約29万本のアナリストレポート

年間 約200万点の画像データ

世界で約5,000万件の特許データ

*各企業の評価には各地域のモデルで採用されている150以上のシグナルが使われています。グローバルで利用しているシグナルの総数は1,200以上となります。
**GPU: Graphics Processing Unit（画像処理装置） ファンダメンタルズとは、本資料においては個別企業の財務健全性、収益力、および成長性を示す各種指標のことを指します。データインテリジェンスとは、組織が保有する膨大なデータ資産を、AIや機械学習、メタデータ管理などの高度な技術を用いて「誰が、何を、どこで、なぜ、どのように」作成・利用しているかを包括的に理解し、信頼性高く活用できるようにするための仕組みや能力を指します。
時点：2025年12月31日 出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント 上記は例示を目的としたものです。これらの目的が達成される保証はありません。

ステップ2：ポートフォリオの構築方法

スコアカードの作成

当社では、15,000社以上の企業を対象にリターン魅力度を評価・順位付けするスコアカードを作成しています。

このスコアは、4つの投資テーマとそこに含まれるシグナルから得られる洞察に基づいて算出されます。各銘柄には、テーマごとに日次で集計された総合スコアが付与されます。

銘柄	ハイクオリティ・ビジネス	ファンダメンタルミスプライス	テーマおよびトレンド	センチメント	合計
銘柄#1	0.7	-0.8	0.2	1.9	2.0
銘柄#2	2.7	1.2	0.4	0.2	4.5
銘柄#3	1.8	-0.5	-0.1	1.5	2.7
...	1.1	-0.1	2.0	-0.1	2.9
...	1.9	0.9	-0.8	0.0	2.0
...	1.1	1.5	1.2	0.0	3.8
...	-0.3	-0.1	-2.5	1.7	-1.2
#15,000	2.3	1.1	-1.5	-4.4	-2.5

↓

高スコア = より魅力的

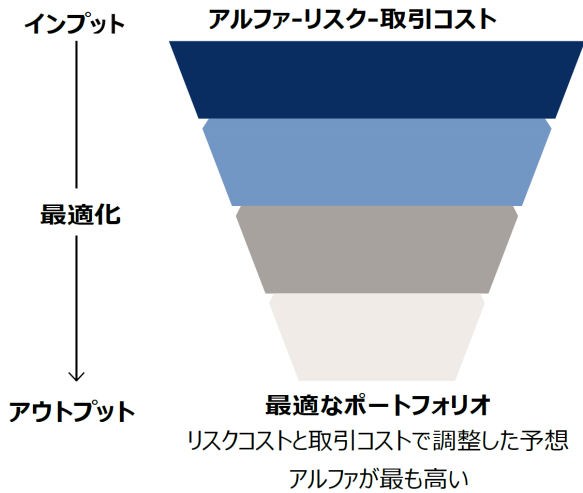
↓

各銘柄の総合スコアは
見通しを反映している

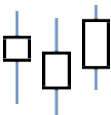
ポートフォリオの構築

企業をリターン魅力度に基づいてランキングした後、独自モデルにより各銘柄のリスクおよび取引コストも考慮します。

ポートフォリオは、一定のリスク水準のもとで、取引コスト控除後の期待リターンを最大化するよう最適化されます。



最適なポートフォリオは、以下の4つの実現を目指して設計されています。



特定スタイルに依存しない、分散型ポートフォリオ

投資スタイルの偏りを抑えた、ベンチマークに沿った幅広い銘柄分散を目指します。



リスクを考慮したリターンの追求

市場イベントに対応したリスク管理と先進的なリスクモデルの組み合わせで、安定したリターンの獲得を目指します。



持続可能なアルファ創出

多様なデータと高度な分析手法を活用し、複数の収益源泉から長期的な超過リターンの獲得を目指します。



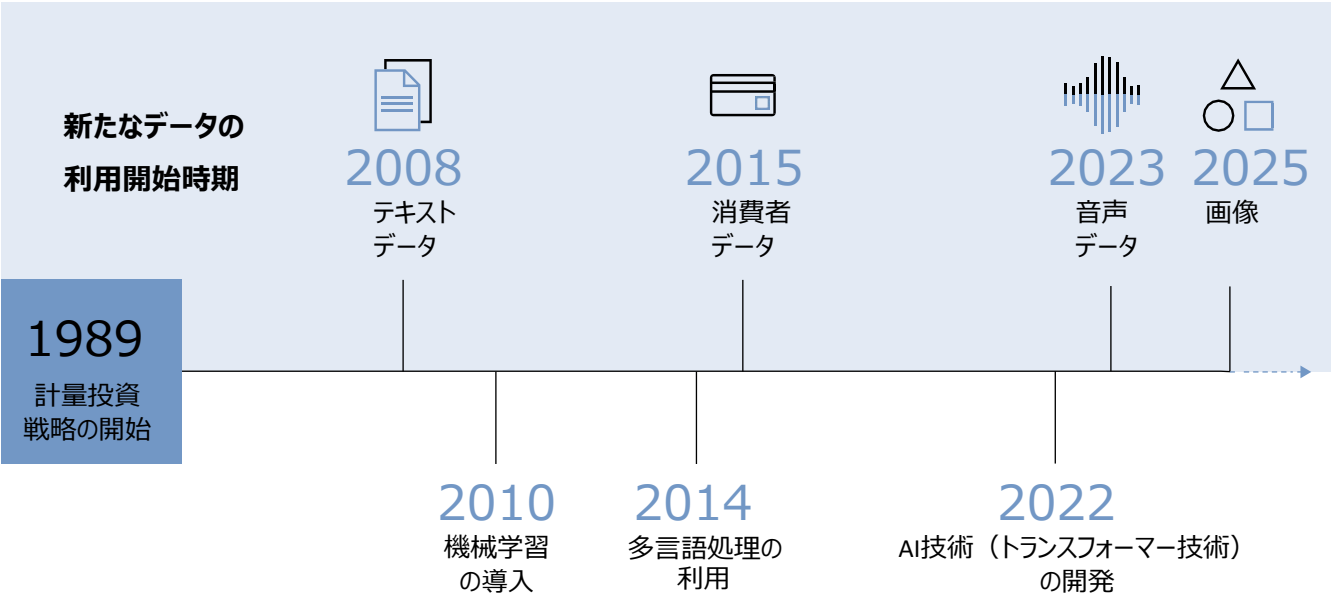
差別化されたリターン特性

他の運用商品とは異なるリターン特性を提供し、ポートフォリオ全体の分散効果を高めることを目指します。

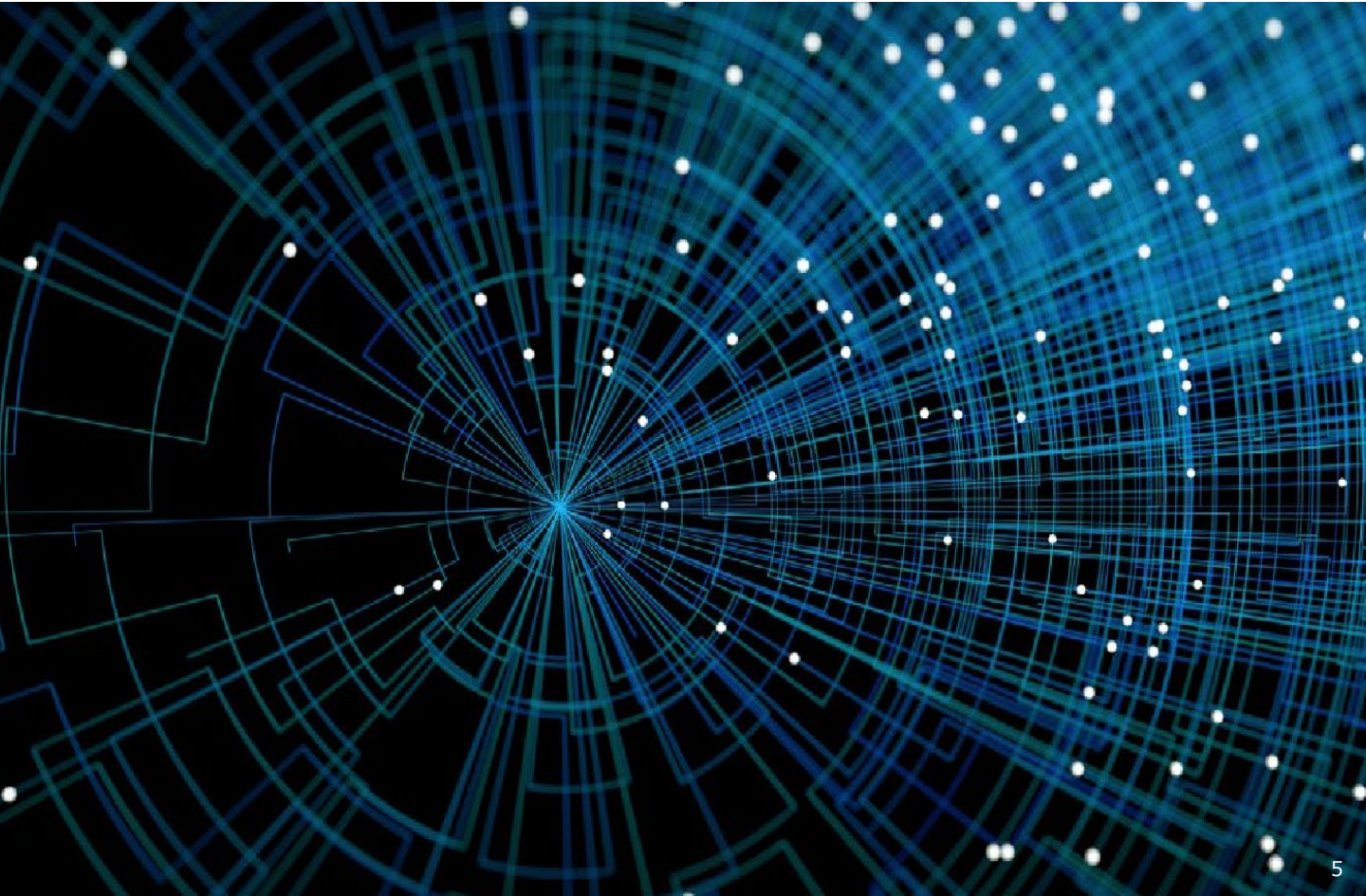
出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
上記は例示を目的としたものです。ポートフォリオのリスク管理プロセスには、リスクを監視および管理するための取り組みが含まれていますが、リスクが低いことを意味するものではありません。これらの目的が達成される保証はありません。

これまでの実績を礎に、未来を切り拓く

イノベーションは当社の投資哲学の中核であり、テクノロジーを活用して先進性を追求しながら、差別化された投資手法の提供を図っています。



出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント 上記は例示を目的としたものです。これらの目的が達成される保証はありません。



計量投資戦略を用いたファンドのご紹介

GS グローバル・ビッグデータ投資戦略

— ファンドの特色 —

Point 01

日本を含む先進国の株式を主な投資対象とし、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。

Point 02

ビッグデータやAI（人工知能）を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資します。

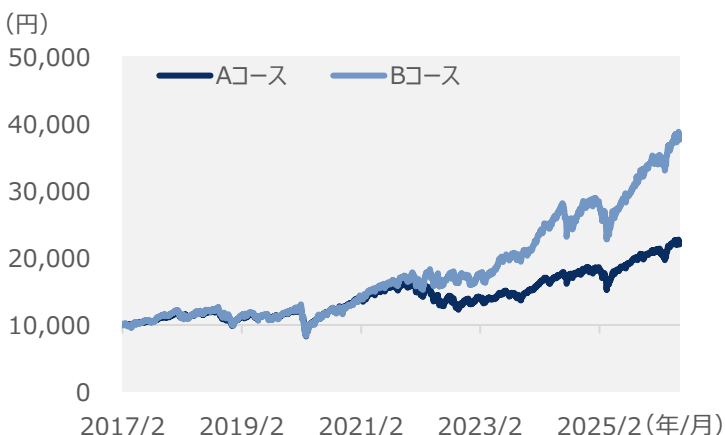
Point 03

為替ヘッジありのAコース、為替ヘッジなしのBコースの選択が可能です。

※運用においてビッグデータやAIなどを利用しますが、ビッグデータやAIなどのテクノロジー関連企業に特化して投資するものではありませんのでご注意ください。

— 運用実績 —

基準価額の推移



総資産総額：1,814億円
(2コース合計、2026年6月末時点)

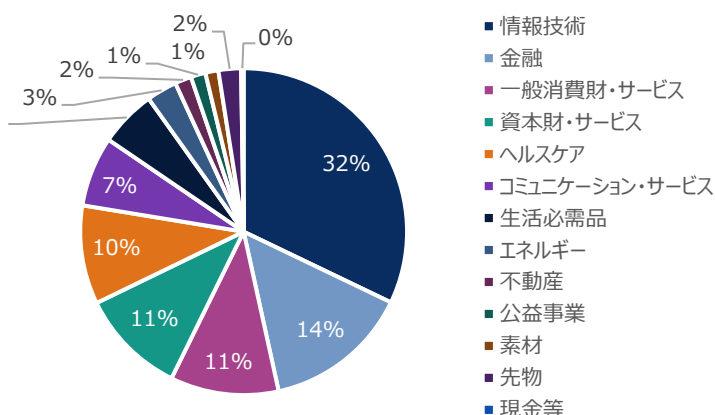
期間別騰落率

	Aコース	Bコース
1年	19.3%	35.9%
3年	51.0%	89.9%
5年	45.0%	138.8%
設定来 (2017年2月24日)	121.2%	279.8%

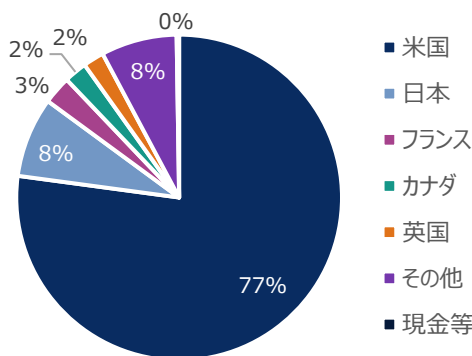
【左図】期間：2017年2月24日（設定日）～2026年6月30日
【右表】時点：2026年6月末
出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

— 投資対象ファンドのポートフォリオ概要 —

業種(セクター)別比率



国別比率



銘柄数：合計 264銘柄

時点：2026年6月末、出所：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

比率は投資対象ファンド「ゴールドマン・サックス・グローバルCOREエクイティ・ポートフォリオ」の対純資産総額比であり、四捨五入しているため合計値が100%にならない場合があります。セクター分類はGlobal Industry Classification Standard（GICS®）（世界産業分類基準）の分類を使用しています。上記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場の動向等を勘案して随時変更されます。

過去の運用実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

投資リスク

くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額が変動します。また、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。信託財産に生じた損益はすべてご投資家の皆さまに帰属します。

主な変動要因

株式投資リスク（価格変動リスク・信用リスク）

本ファンドは、日本を含む先進国の株式を主要な投資対象としますので、本ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等のさまざまなリスクが伴うことになります。

本ファンドの基準価額は、株式等の組入有価証券の値動きにより大きく変動することがあり、元金が保証されているものではありません。特に世界の株式市場の下落局面では本ファンドの基準価額は大きく下落する可能性が高いと考えられます。一般に、株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況に応じて変動します。したがって、本ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があります。現時点において価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。また、発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。

株式の流動性リスク

本ファンドの投資対象には、流動性の低い株式も含まれています。このような株式への投資は、ボラティリティ（価格変動率）が比較的高く、また流動性の高い株式に比べ、市況によっては大幅な安値での売却を余儀なくされる可能性があることから、大きなリスクを伴います。

為替変動リスク

本ファンドは、日本を含む先進国の株式を投資対象とする外貨建ての投資信託証券を主要な投資対象としますので、本ファンドへの投資には為替変動リスクが伴います。とりわけ、対円で為替ヘッジを行わないBコースでは為替変動の影響を直接的に受け、円高局面ではその資産価値を大きく減少させる可能性があります。Aコースは、対円で為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替ヘッジを行うにあたりヘッジ・コストがかかります（ヘッジ・コストは、為替ヘッジを行う通貨の金利と円の金利の差が目安となり、円の金利の方が低い場合、この金利差分収益が低下します。）。為替ヘッジは実質的な外貨建資産に対して行われますが、委託会社の裁量により実質外貨建資産のすべてに対してヘッジを行うとは限りません。また、Aコースの純資産総額によっては一部の実質外貨建資産について為替ヘッジを行わず、為替ヘッジを行わない比率は純資産総額の減少に応じて大きくなります。そのため、Aコースへの投資であっても為替変動リスクが伴います。

留意点

計量運用に関する留意点

本ファンドでは、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの計量モデル群を用いた複数の戦略が実行されます。ビッグデータやAIの利用を含む計量モデルに従う運用がその目的を達成できる保証はなく、ボトムアップ手法によるアクティブ運用やパッシブ運用など他の運用手法に対して優位性を保証するものでもありません。なお、計量モデルにはビッグデータやAI以外の定量要素も利用されます。計量モデルの改良・更新は継続的に行われており、ビッグデータやAIの利用方法については将来変更されることがあります。計量モデルは仮説に基づき構成されたものであり、モデルにより選択された銘柄や市場動向は必ずしもこの仮説が想定する動きを示さない場合があります。また、ある時点でモデルが有効であったとしても、市場環境の変化等により、その有効性が持続しない可能性もあります。このような場合には、本ファンドの基準価額に影響を及ぼし、本ファンドのパフォーマンスが参考指標を下回ったり、投資元金が割り込む可能性があります。

お申込みメモ

くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

購 入 単 位	販売会社によって異なります。
購 入 価 額	購入申込日の翌営業日の基準価額
購 入 代 金	販売会社が指定する日までにお支払いください。
換 金 価 額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換 金 代 金	原則として換金申込日から起算して6営業日目から、お申込みの販売会社を通じてお支払いいたします。
購 入 ・ 換 金 申 込 不 可 日	英国証券取引所、ニューヨーク証券取引所もしくはルクセンブルク証券取引所の休業日またはロンドン、ニューヨークもしくはルクセンブルクの銀行の休業日および12月24日（以下「ファンド休業日」といいます。）
申 込 締 切 時 間	「ファンド休業日」を除く毎営業日の原則として午後3時30分までに販売会社所定の手続きが完了したものを当日の申込受付分とします。 ※販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にご確認ください。
信 託 期 間	原則として無期限（設定日：2017年2月24日）
繰 上 償 還	各ファンドについて純資産総額が30億円を下回ることとなった場合等には繰上償還となる場合があります。また、主要投資対象とする投資信託証券が存続しないこととなる場合には、信託を終了します。
決 算 日	毎年3月10日（ただし、休業日の場合は翌営業日）
収 益 分 配	毎年の決算時に原則として収益の分配を行います。販売会社によっては分配金の再投資が可能です。
信託金の限度額	各ファンドについて1兆円を上限とします。
ス イ ッ チ ン グ	スイッチング（乗換え）につきましては、販売会社にお問い合わせください。 ※スイッチングの際には換金（解約）されるファンドに対して換金にかかる税金が課されることにつきご注意ください。
課 税 関 係 （個人の場合）	課税上は株式投資信託として取扱われます。 本ファンドは、少額投資非課税制度（NISA）の「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の適用対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。 配当控除の適用はありません。 原則、分配時の普通分配金ならびに換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）が課税の対象となります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購 入 時 手 数 料	購入申込日の翌営業日の基準価額に 3.3%（税抜3%） を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。
換金時	信 託 財 産 留 保 額	なし

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎 日	運 用 管 理 費 用 （ 信 託 報 酬 ）	純資産総額に対して 年率1.3475%（税抜1.225%） ※運用管理費用は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。
	信 託 事 務 の 費 用	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、印刷費用など信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.1%相当額を上限として定率で日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われるほか、組入れ投資信託証券の信託事務の諸費用が各投資信託証券より支払われます。
随 時	そ の 他 の 費 用 ・ 手 数 料	有価証券売買時の売買委託手数料や資産を外国で保管する場合の費用等 上記その他の費用・手数料（組入れ投資信託証券において発生したものを含みます。）はファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※上記の手数料等の合計額については、ご投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

販売会社一覧

金融商品取引業者名		登録番号	加入協会				お取り扱いコース		備考
			日本証券業協会	資産運用業協会	一般社団法人金 融先物取引業協会	一般社団法人金 融商品取引業協会	A コース	B コース	
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	●	●			●	●	
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	●	●	●		●	●	
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	●	●	●	●	●	●	
株式会社S B I証券*	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	●	●	●	●	●	●	
くんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	●				●	●	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	●				●	●	
東海東京証券株式会社*	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	●	●	●	●	●	●	
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	●				●	●	
野村證券株式会社*	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	●	●	●	●	●	●	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	●	●			●	●	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	●				●	●	
PayPay証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2883号	●					●	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	●		●		●	●	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	●	●	●	●	●	●	
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	●	●	●	●	●	●	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	●	●	●	●	●	●	
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	●				●	●	
株式会社あいち銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第12号	●		●		(注)	(注)	
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	●				●	●	
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号	●		●			●	
株式会社S B I 新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社S B I証券*、マネッ クス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	●		●		●	●	
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	●		●		●	●	
株式会社紀陽銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第8号	●				●	●	
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第6号	●				●	●	
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第593号	●		●		●	●	
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	●					(注)	
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第5号	●		●		●	●	
株式会社清水銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第6号	●				●	●	
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第3号	●				●	●	
株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	●		●			●	
株式会社筑邦銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第5号	●				●	●	
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第2号	●		●		●	●	
株式会社栃木銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第57号	●				●	●	
株式会社八十二長野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	●		●		●	●	
株式会社八十二長野銀行 (委託金融商品取引業者 八十二証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	●		●		●	●	
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	●		●		●	●	
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	●		●	●	(注)	(注)	
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	●		●	●	●	●	
株式会社りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第3号	●	●	●		●	●	

* 「一般社団法人日本STO協会」にも加入しております。
(注) 本ファンドの新規の購入申込み受付を停止しております。
くわしくは販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

委託会社その他関係法人の概要について

- ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
(委託会社)
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第325号
加入協会: 日本証券業協会、
一般社団法人資産運用業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
信託財産の運用の指図等を行います。
- 販売会社
本ファンドの販売業務等を行います。
販売会社については、下記の照会先までお問い合わせ
ください。
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
電話 03-4587-6000
(受付時間: 営業日の午前9時から午後5時まで)
ホームページ・アドレス: www.gsam.co.jp
- みずほ信託銀行株式会社(受託会社)
信託財産の保管・管理等を行います。

追記

- ・ 本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が作成した販売用資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書（交付目論見書）」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- ・ 本ファンドは値動きのある有価証券等（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。
- ・ 本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。
- ・ 過去の運用実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。
- ・ 本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。
- ・ 弊社及びゴールドマン・サックス・グループで投資運用業務を行う関係法人を総称して「ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント」あるいは「GSAM」と呼ぶことがあります。
- ・ 本資料に記載された、一般的な市場動向や、産業およびセクター動向、あるいは広範囲にわたる経済、市場および政治状況についての情報は、いかなる投資推奨あるいは投資助言の提供を意図するものではありません。本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント（GSAM）が作成したものであり、GSグローバル・インベストメント・リサーチが発行したものではありません。本資料に記載された見解は、GSグローバル・インベストメント・リサーチ、その他ゴールドマン・サックスまたはその関連会社のいかなる部署・部門の見解と必ずしも同一であるとは限りません。本資料記載の情報は作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。
- ・ 株式への投資は、個々の企業、業種への見通しや市場・経済の状況等による価格変動のため投資元本を割り込んだり、その全額を失うことがあります。投資スタイル（例えば、グロースとバリュー）の違いにより運用が優位にも劣位にもシフトすることから、同様の資産クラスに投資する他の戦略のパフォーマンスに劣後することがあります。中小型株など時価総額が相対的に小さい場合は流動性が低く大型株式などと比較して価格が急速に乱高下する場合があります。
- ・ 外国証券は、変動性が高く流動性が低くなる可能性があり、不利な経済や政治的展開のリスクを伴う可能性があります。外国証券は規制の未整備、変動性の高い証券市場、不利な為替レートや社会的、政治的、軍事的、規制の、経済的、環境的発展、または自然災害により、より大きな損失リスクを伴いますが、これらに限定されるものではありません。
- ・ 為替市場は投資家に相当な水準のレバレッジを提供します。レバレッジにより、大きな収益を獲得する可能性があります。同時に大きな損失を蒙るリスクも内包しています。したがって、このような取引の経験を有する投資家にのみ適合する投資であると考えられます。為替レートの変動も投資資産の価値に影響を及ぼします。
- ・ 為替レートの変動のリスクにより、外貨建て証券の価値が下落する可能性があります。為替レートは短期間で大きく変動する場合があります。これらのリスクは、新興国に所在するまたは新興国に経済的に結びついている発行体の証券への投資において、より顕著になる可能性があります。該当する場合は、為替変動リスクを軽減するために為替ヘッジを行います。効果的ではない場合もあります。為替ヘッジにはデリバティブに関連する追加のリスクも伴います。
- ・ 投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ・ 銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- ・ 投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。
- ・ 投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。
- ・ 本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく（Ⅰ）複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは（Ⅱ）再配布することを禁じます。

GS